

教科名	理科
科目名	生物基礎
グレード	
単位数	2単位
対象学年	高校2年

科目の概要	肝臓や腎臓の働き・神経とホルモンによる調節・免疫・植生の多様性と分布・生態系とその保全
科目の目標	肝臓や腎臓が体内環境の調節にどのように働くか理解する。ホルモンや自律神経による体内環境の調節のしくみを理解する。また、植生の多様性に目を向け、森林の形成を理解したり、気温や降水量による違いでさまざまなバイオームが生成されることを理解する。生態系については身近な問題から興味を持ち、知識を深める。
使用教科書	改訂版 生物基礎 数研出版
使用副教材	セミナー生物基礎 第一学習社
評価の方法	定期考査（4回）、提出プリント、調べ学習や発表の際の姿勢や内容
学習の方法	どのようなしくみで体内の環境を保っているのかを考えながら、ホルモンや神経などの名称を覚える。また、生態系に関するところも同様に、関わりを考えて理解していく。
生徒への一言	生物に少しでも興味を持って学習することが大切である。

月	授 業 予 定
4月	体内環境としての体液
5月	腎臓と肝臓による調節
	5月下旬 前期中間考査
6月	神経とホルモンによる調節
7月	免疫
8・9月	植生
	9月下旬 前期期末考査
10月	植生の遷移、気候とバイオーム
11月	生態系とその成り立ち
	11月下旬 後期中間考査
12月	生態系とその成り立ち 環境問題に関して調べ学習
1月	生物の多様性と共通性、エネルギーと代謝の問題演習、環境問題に関して調べ学習の発表
2月	遺伝子のはたらきの問題演習、環境問題に関して調べ学習の発表
	2月下旬 後期期末考査
3月	環境問題に関して調べ学習の発表のまとめ